

令和6年度第4回定例会見

令和7年1月29日



登壇者

代表取締役社長 由木 文彦(ゆき ふみひこ)

管理事業本部長 田仲 博幸(たなか ひろゆき)

サービスエリア・新事業本部長 吉見 秀夫(よしみ ひでお)

会見内容

1. 営業概要（令和6年度第3四半期）
2. 令和6年交通事故発生状況
3. スタートアップ企業への出資を通じた新たな価値の創造

(1) 営業の状況

① 通行台数・料金収入の状況

【通行台数】	台数(万台/日)	対前年度比
第3四半期計	308.1万台/日	102.0%
R6年度累計	306.7万台/日	101.6%
【料金収入】	収入(億円・税抜)	対前年度比
第3四半期計	2,125.8億円	102.8%
R6年度累計	6,465.5億円	102.8%

※参考値(速報)のため、料金収入の確定値とは一致しない可能性があります。

② 車種別の走行台キ口

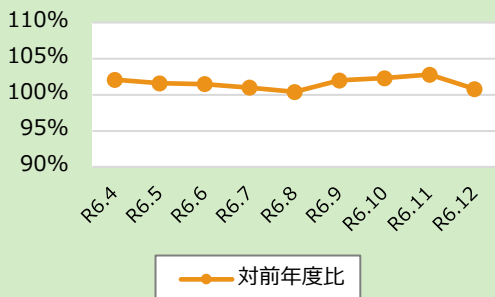
※高速自動車国道のみ

【第3四半期計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
対前年度比	104.3%	102.2%	102.1%	104.9%	109.9%	103.0%
【R6年度累計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
対前年度比	103.2%	101.7%	101.3%	104.2%	109.2%	102.3%

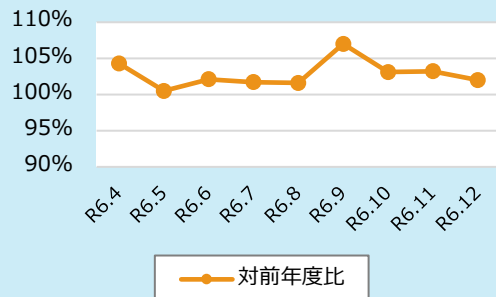
(2) ETCの利用率

ETC(12月)	ETC2.0(11月)	【関東地区 主要料金所及び路線のETC利用率】	
94.0%	37.2%	関越道：新座本線 96.6%	東関東道：習志野本線 96.8%
		東北道：浦和本線 97.5%	東京湾アクアライン：98.7%
		常磐道：三郷本線 97.2%	東京外環道：97.5%

通行台数(日平均)
(R6年度・月別)



料金収入
(R6年度・月別)



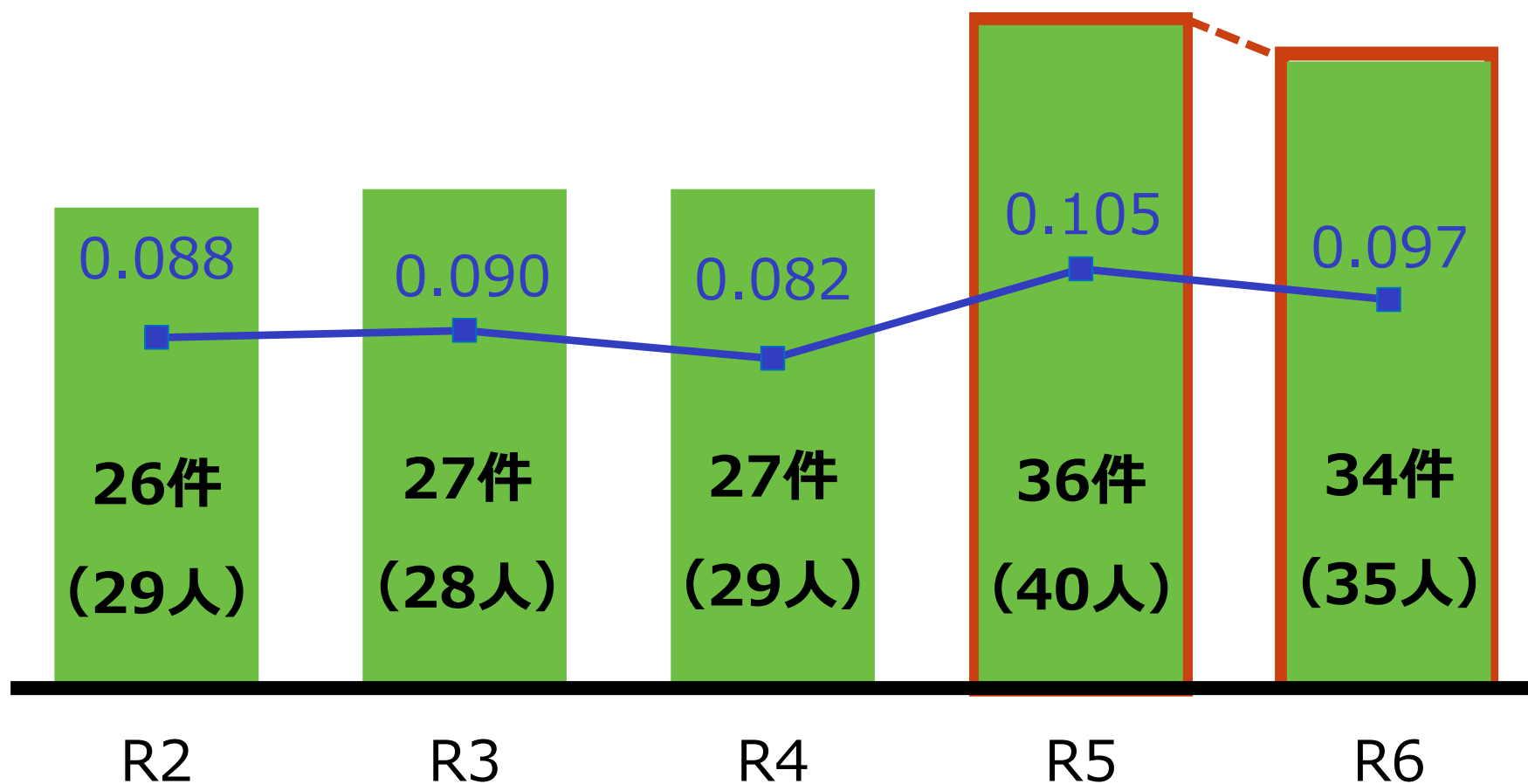
(3) SA・PAの状況 ※単位：百万円

	第3四半期累計	前年度比	R6年度累計	前年度比
飲食・物販	26,946	103.8%	84,330	103.7%
GS	17,101	107.6%	49,715	103.9%
合計	44,048	105.2%	134,045	103.8%

【営業施設のあるSA・PA】196力所(SA:78、PA:118)

- 第3四半期の通行台数・料金収入は、前年度を上回った。
- 『飲食・物販部門』の売上高は、総休日数では下回ったものの年末年始の連休も影響し、お客様の外出機会も増えたことで前年度を上回った。
- 『GS部門』の売上高は、全油種計で単価は横ばいとなったものの、販売数量が上昇したことで、前年度を上回った。

■ 死亡事故件数 ■ 死亡事故率 (件/億台[※])
※走行台[※]あたりの死亡事故件数

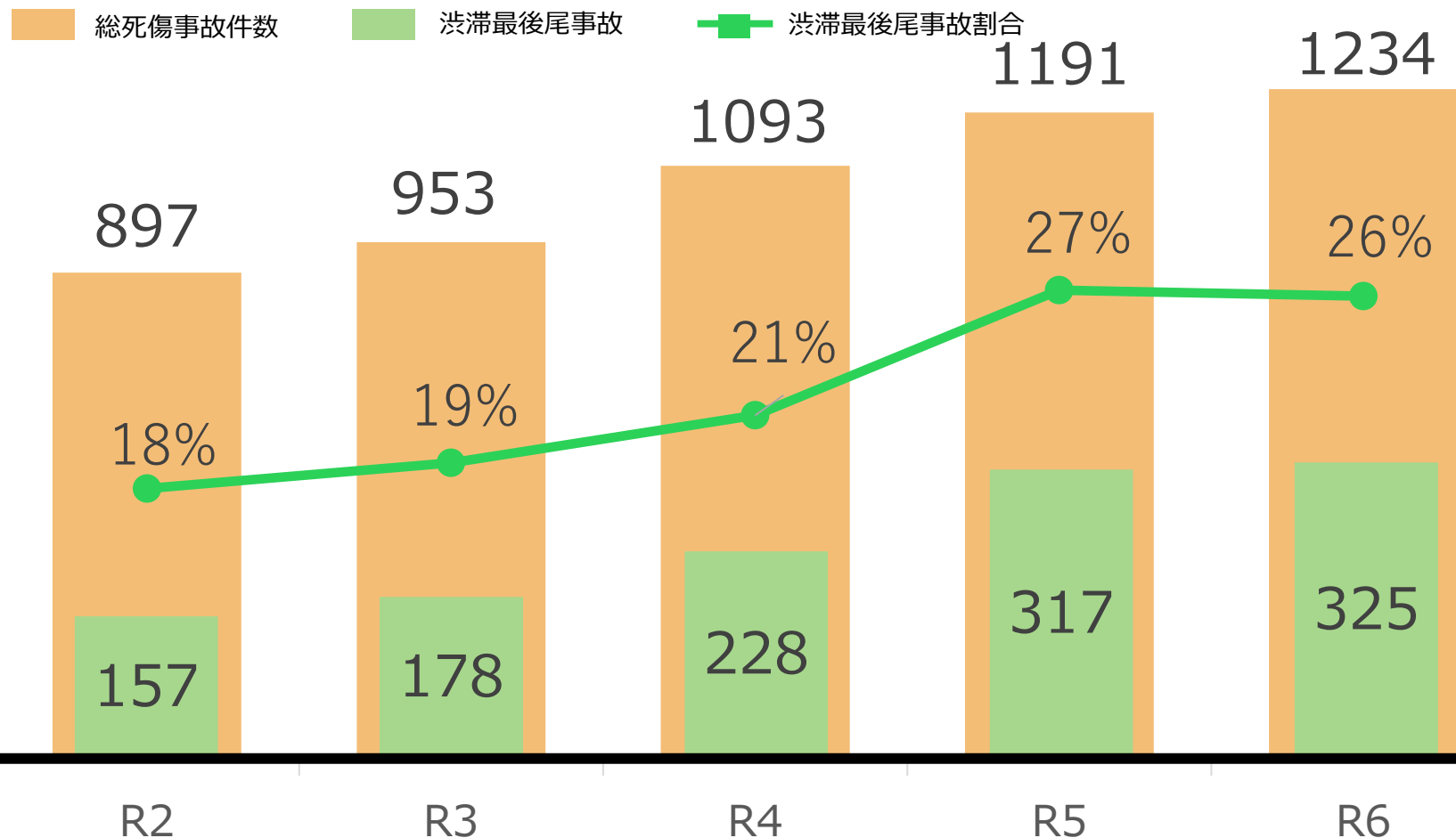


死亡事故件数
R5 同時期比
-2件
(-6%)

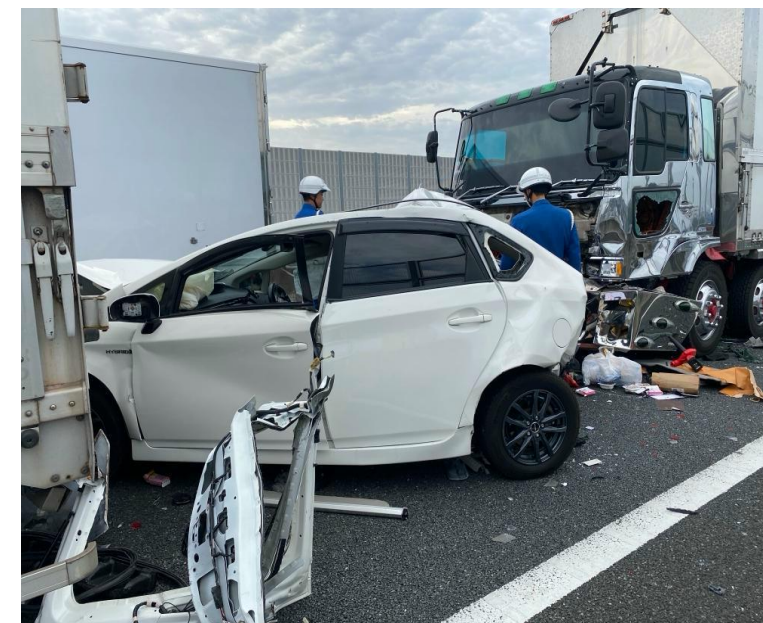
死亡者数
R5 同時期比
-5人
(-14%)

注) 資料中の値はNEXCO東日本調べ

●R6年は渋滞最後尾における死傷事故が**325件**発生し、増加傾向



渋滞最後尾に追突した車両の写真

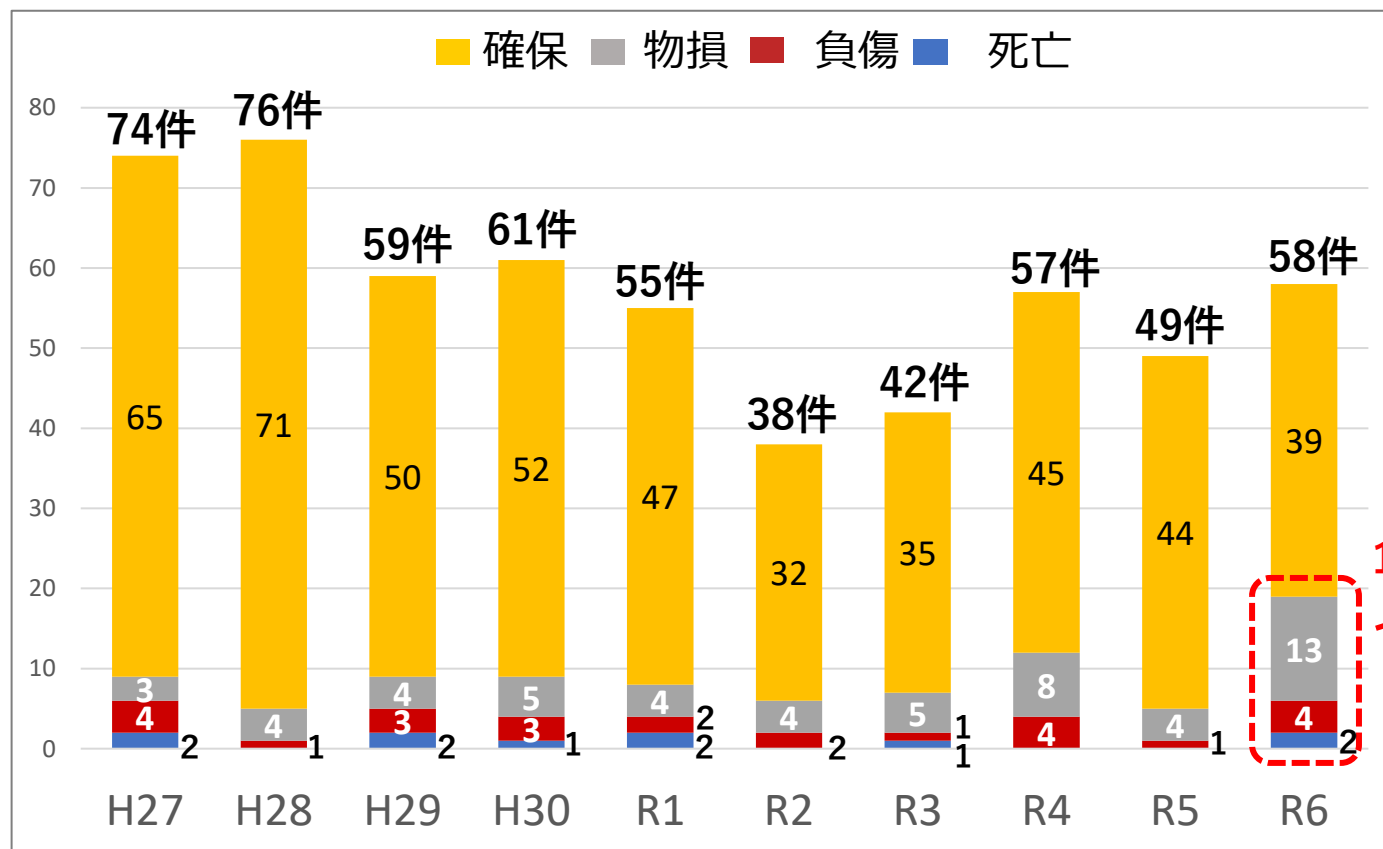


注) 資料中の値はNEXCO東日本調べ

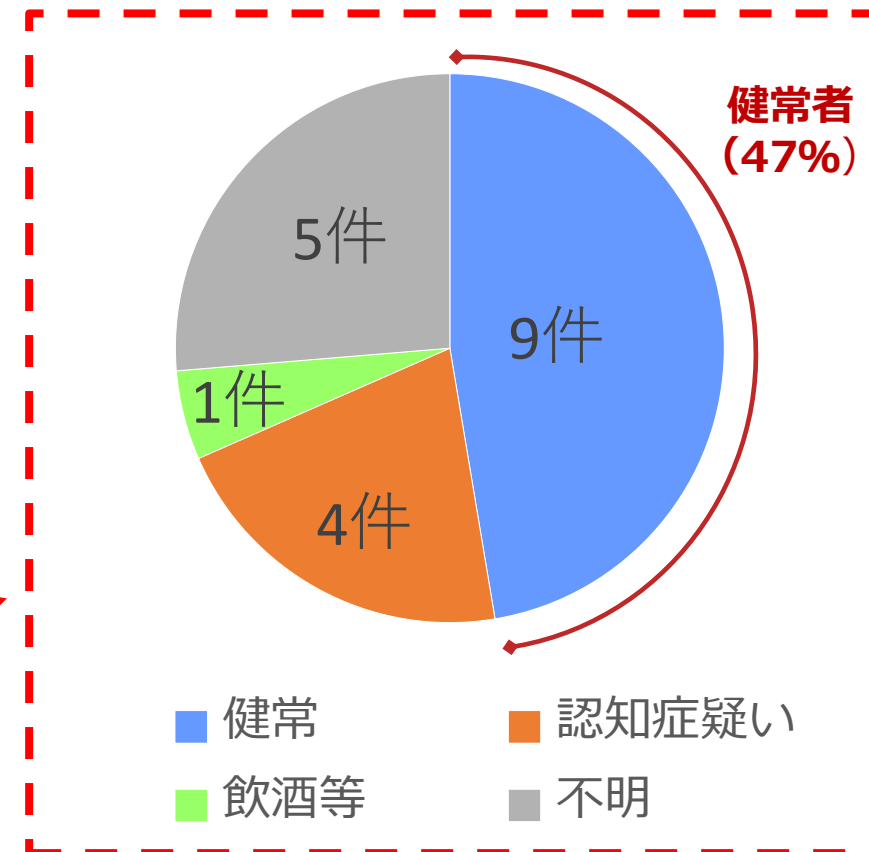
**⇒十分な車間距離をとり、前方に注意
渋滞により低速走行や停止する場合はハザードランプを点灯**

- 管内の令和6年の逆走事故発生件数は19件と多く、その内 健常者による事故が半数近くを占める。

逆走事案・事故発生件数



事故当事者の状態



出典：H27～R6.11 警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成したものより抽出、R6.12 NEXCO東日本調べ

NEXCO東日本

- ・地域との繋がり
- ・地域社会、経済への貢献
- ・インフラを支える技術力、アセット

ドラぷら

INNOVATION LAB

スタートアップ企業

- ・新たな技術・サービス
- ・革新的なアイデア

等

共創
(検証・実装)

出資

NEXCO東日本×スタートアップ＝イノベーションの実現
多様化する社会課題を解決するソリューションの社会実装

2030年の社会を見据え高速道路から新たな価値を創造

高速道路会社初となるスタートアップ企業への出資を実行。

《株式会社BONX》



<株式会社BONX 概要>

設立時期:2014年11月

所在地 :東京都中央区

事業内容:音声コミュニケーション
ツールの企画・開発・販売

出資時期:令和6年10月

《株式会社AirX》



<株式会社AirX 概要>

設立時期:2015年2月

所在地:東京都千代田区

事業内容:1. エアモビリティの遊覧/移動サービス
2. eVTOLを活用した
プラットフォームの開発

出資時期:令和7年1月

デスクレスワーカーのコミュニケーション向上、業務効率化を推進。



距離無制限、ハンズフリー、チャットも。
●で現場のコミュニケーションが進化。

地域の新たな魅力創出、中山間地域を中心とした生活支援、防災など、新たな移動サービスを提供。



社会課題の解決:NEXCO東日本×スタートアップ=イノベーションの実現



- 担い手不足対策としてデジタル技術を活用した現場業務を変革させる「現場DX」を推進。
- デスクレスワーカーの負担軽減と働き方の改善に寄与。



- 地域の公共交通の減退、観光振興策、防災支援などへの対策としてエアモビリティを推進。
- 高速道路とエアモビリティの連携により地域の課題解決に寄与。

各社の強みを活かした共創



- 周囲の音をカットして話者の声だけを届ける**NTTの特許技術**を搭載。
- **建設現場**などの騒音下やBGMの大きい**店内**などにおいて快適なコミュニケーションが可能。
- **音声×映像×AI**を融合した現場DXソリューション。
- 新たに「BONX Stick」を発売予定。



- 空の移動において調達・整備・予約・販売までの**一連のサプライチェーン**を構築し、オンデマンドヘリシェアサービスを提供。
- 離発着場の増設による**移動エリア**の拡大。
- **空飛ぶクルマ**（アドバンスド・エア・モビリティ）の実証。

2030年の社会を見据え高速道路から新たな価値を創造



- 現場とオフィスの垣根をなくし、いつでも・誰でも・どこにいても円滑なコミュニケーションを実現
- 現場の安全性の飛躍的な向上
- AIもチームメンバーとした「現場DX」による作業の効率化・省人化

現場という概念の革命



- 高速道路を結節点としていつでも・どこから・どこへでもシームレスな移動の実現
- 高速道路を起点とした持続可能な地域づくりへの貢献
- 空飛ぶクルマ(アドバンスド・エア・モビリティ)を含めた移動の実現

エアモビリティによる空の移動革命¹⁴



ドラぷらイノベーションラボ





E-NEXCO OPEN INNOVATION PROGRAM 2024

高速道路の新しい提供価値の創出と特定課題の解決を目指すプログラム

INNOVATION LAB

NEXCO

第Ⅳ期共創パートナー4社を決定。

会社				
社名	株式会社 アーバンエックス テクノロジーズ	インフラストラクチャー テクノロジーズ株式会社	株式会社エアロジーラボ	ジオフラ株式会社
提案内容	AIによる区間線剥離 率の測定システム	AIによる構造物の 高精度劣化診断	長距離・自律飛行ドロー ンによる高速道路の防災 危機管理支援	おでかけ連動アプリ× アプリ連動カプセルト イを活用した高速道路 利用と地域回遊の促進